

安井議員（自民議連）

平成 29 年 2 月 28 日  
教育長 答 弁 実 録  
（ 教 育 委 員 会 ）

（問）中山間地域の高等学校活性化について

1 学年 1 学級規模の学校が所在する多くの県内市町が、学校の活性化を図り、地域に活力をもたらすため、地域に塾がないことを踏まえた公営の塾の運営、通学費の補助、寮の設置など、様々な支援を行っており、地域の学校に対する思いも日々高まっていると感じている。

そこで、これまでの関係市町の取組をどのように評価し、今後 2 年間の市町や地域からの学校に対する支援の在り方についてどのように考えているか、また、地域の支援や意向を踏まえた県教育委員会としての支援をどのようにしていくのか、教育長の所見を伺う。

（答）

1 学年 1 学級規模の高等学校におきましては、学校関係者や地域関係者、市町等で構成する「学校活性化地域協議会」において検討された活性化策に基づき、

- ・ 学力向上のための学習支援塾や公営塾の開設
- ・ 地域に貢献する課外活動や地域について学ぶ教育課程の実施
- ・ 県外募集の実施

などについて、地域の皆様方や市町から様々な御支援をいただきながら、積極的に取り組んでいるところでございます。

こうした中、地域の皆様方からの御支援や御協力によりまして、生徒の地域行事への積極的な参加や地域人材を活用した教育活動が活発に行われ、学校全体が活気づいてきている学校も増えてきております。

また、特色ある学習活動やクラブ活動など、学校の新たな魅力の創造や更なる活性化が図られ、地元中学校からの入学者が増加している学校や、県外も含めた広域からの入学者が増加している学校もございます。

今後ますます児童生徒数の減少が見込まれる中、地元中学校からの入学者を含め、全校生徒数の確保について厳しい状況が続くものと考えており、各学校におきましては、引き続き、地域や市町からの御支援をいただきながら、更なる学校の活性化に向けた取組を進めていく必要があると考えております。

教育委員会といたしましては、各学校のこれまでの取組に加え、今後、学

校活性化地域協議会で新たに検討される取組が、より一層積極的かつ効果的に進められますよう、学校の特色を生かした教育活動への支援を引き続き、行ってまいりたいと考えております。